

佐喜眞淳市長が2期目就任

都市づくり、人づくり、未来づくり

市勢発展を誓う

1月17日(日)に告示された宜野湾市長選挙は、1月24日(日)に投開票が行われ、佐喜眞淳市長が再選され、第17代宜野湾市長に就任しました。

2月12日(金)に市役所玄関前で行われた就任式で、「宜野湾市が活力と活気に満ち、市民一人ひとりが幸せを感じ、宜野湾に住んでよかった」「宜野湾がいちばん」だと実感していただければ、よう「都市(まち)づくり、人づくり、未来づくり」に全力を尽くしていきたい」と決意を述べました。



宜野湾市長選挙当選証書が付与されました。



市長就任式で、市政運営の決意を語る佐喜眞淳市長



初登庁する佐喜眞市長を出迎えました。

宜野湾市長選挙結果

(平成28年1月24日執行)

氏名	得票数
佐喜眞 アツシ	27,668
シムラ 恵一郎	21,811
投票率	68.72%

就任のあいさつ

第17代宜野湾市長 佐喜眞 淳

私は、去る市長選挙において、再び市民の負託を得て二期目の当選を果たし、このたび第17代宜野湾市長に就任いたしました。

一期目では、活気ある宜野湾市を創るために多くの懸案事項の解決に取り組み、道筋をつけてまいりました。その成果が市民に評価され、再び市長として市政を担うことに大きな喜びと同時に期待の大きさと責任の重さをひしひしと感じ、改めて身の引き締まる思いでございます。

世界一危険と言われる米軍基地普天間飛行場を抱える宜野湾市から、世界一安全で活気に満ちあふれ、豊かで住みよいまち、平和で潤いのあるまちづくりを目指し、市民の夢が叶えられる諸政策を計画、実行し、市民協働のまちづくりを全力で推進するとともに、市民目線で市民に開かれた行政運営に取り組んでまいります。

また、最大の課題であります普天間飛行場問題につきましては、日米両政府が返還に合意してから本年は20年の節

目を迎えることから、固定化を絶対に許さず、一日も早い閉鎖・返還を実現するため訪米行動などを実行し、基地があるが故の危険性を日米両政府に対して強く訴えてまいります。また、返還までの間の基地負担軽減にも力を注いでまいります。

市政運営にあたっては、市民の皆様のお力添えはもとより、国、県の協力をいただきながら、まちづくりや市民福祉の充実、市民サービスの向上に資するため、実現性を最優先にしたスピード感のある行政運営を実行してまいります。本市が活力と活気に満ち、市民一人ひとりが幸せを感じ、宜野湾に住んでよかった「宜野湾がいちばん」だと実感していただければ、よう「都市(まち)づくり、人づくり、未来づくり」に全力を尽くしていく所存でありますので、今後とも市政運営に対しまして市民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

また、最大の課題であります普天間飛行場問題につきましては、日米両政府が返還に合意してから本年は20年の節